

## 授業計画

科目名	看護マネジメントとキャリア論 I		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 社会に期待される看護職になるために将来の自己のキャリアについて考える。 2. 自己の考えを他者に論理的に伝えられる。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	都立看学で発展させたい4つの力とカリキュラム	教育課程 (ガイダンス)	講義	専任教員 *		
第 2 回	看護職にとってのキャリア	生涯学習の必要性 キャリアの考え方 看護師としての成長 (ベナーのモデル)	講義	専任教員 *		
第 3 回	看護職の専門性	専門職性 (プロフェッショナリズム) とプロフェッションフッド 継続教育と生涯学習	講義	専任教員 *		
第 4 回		看護師が直面する壁 ライフイベントとキャリア 離職の原因と対応策、職場での対策 (文献学習)	演習	専任教員 *		
第 5 回		看護師を継続していくためのキャリアプラン発表	演習	専任教員 *		
第 6 回	目指したい看護	実際に仕事をしている先輩看護師へのインタビュー ライフイベントとキャリア 看護職としての経験とキャリア	演習	専任教員 *		
第 7 回		私が目指したい看護師像の明文化	演習	専任教員 *		
第 8 回	評価	修了認定試験 (1h)				
テキスト 参考図書	なし		評価 方法	レポート・ポートフォリオで評価		
備考						

## 授業計画

科目名	看護マネジメントとキャリア論Ⅱ		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	3 年次
科目 目標	1. 看護管理についての基礎的知識を習得し、組織の中での看護師の役割を理解する。 2. 看護の専門性を磨き、看護という職業世界で自己を成長させる方法を理解する。					
回	単 元	内 容	時期 方法	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	医療における看護管理	看護部門の組織構造と看護プロセス 看護管理		講義	外部講師* (看護管理者)	
第 2 回	組織の中の看護	組織としての看護 看護業務基準・手順		講義	外部講師* (看護管理者)	
第 3 回	組織とマネジメント	組織とマネジメント リーダーシップとメンバーシップ チーム医療と多職種との協働		講義	外部講師* (看護管理者)	
第 4 回	看護の質向上	看護サービス管理 入院基本料・看護必要度 看護の質の評価 医療・看護の質改善に向けた取り組み		講義	外部講師* (看護管理者)	
第 5 回	看護職の健康管理	働きやすい職場環境 組織の健康管理と看護師自身の健康管理 ワークライフバランスと看護		講義	外部講師* (看護管理者)	
第 6 回	医療の高度化と人材育成	新人看護師研修制度とキャリアラダー ジェネラリストとスペシャリスト 専門看護師・認定看護師・認定管理者・特定行為に係る看護師の研修制度		講義	外部講師* (看護管理者)	
第 7 回	自己のキャリアプラン	看護専門職としての将来設計と自己研鑽		演習	専任教員* (看護系管理職)	
第 8 回	評価	修了認定試験 (1h)				
テキスト 参考図書	新体系看護学全書 看護の統合と実践①看護実践マネジメント医療安全 げがフルド社			評価 方法	筆記・レポート 100 点	
備考						

## 授業計画

科目名	医療安全と看護 I		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 医療安全についての基礎的知識を習得する。 2. 感染予防の必要性と方法について基礎知識を習得する					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	医療安全の確保	医療における安全の重要性 安全の意義 看護の対象者の特徴 ヒューマンエラー 安全における看護の役割	講義	専任教員*		
第 2 回	安全な医療環境	安全を守るための基本 転倒・転落防止 療養環境における危険防止 個人情報管理 事件事例の収集と分析	講義 演習	専任教員*		
第 3 回		感染成立の条件 生体の防御機構（自然免疫・獲得免疫） 感染源、感染経路、宿主 標準予防策（スタンダードプリコーション）	講義	専任教員*		
第 4 回		感染経路別対策 洗浄・消毒・滅菌 無菌操作 感染性廃棄物の取り扱い	講義	専任教員*		
第 5 回	感染予防の実際	衛生的手洗い	校内 実習	専任教員*		
第 6 回 第 7 回		無菌操作 個人防護具の着脱 滅菌手袋の装着	校内 実習	専任教員*		
第 8 回	評価	修了認定試験（1h）				
テキスト 参考図書	系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術 II 医学書院			評価 方法	筆記 100 点	
備考						

## 授業計画

科目名	医療安全と看護Ⅱ		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 安全な医療の提供のため医療機器の適切な取り扱いを習得する 2. 臨地実習における事故防止と安全管理を学ぶ					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	チューブ・ラインの安全な管理	医療安全 医療事故発生のメカニズム チューブ・ラインの種類と挿入目的 チューブ・ライントラブルの起こりやすい状況と対策 ・外れ ・閉塞 ・抜去 ・切断 ・不適切な圧力 チューブ・ラインを挿入している人の事故防止	講義	専任教員*		
第 2 回		チューブ・ドレーンを挿入している人の事故防止の実際	校内 実習			
第 3 回	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い	輸液ポンプ・シリンジポンプを使用している人の看護	講義	専任教員*		
第 4 回		安全で確実な注射業務の実施方法 注射業務実施中のトラブルと対処方法	校内 実習	専任教員*		
第 5 回		輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい取り扱い 輸液セット・三方活栓の接続 三方活栓の取り扱い 輸液ポンプ・シリンジポンプの設定 ポンプ使用時の事故防止 ・フリーフロー ・サイフォニング現象 輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの対処方法	校内 実習	専任教員*		
第 6 回	看護学生の実習における安全	実習における事故の法的責任と補償 実習中の事故予防及び事故発生時の対応 習得すべき看護技術のリスクと安全 実習中における安全についての指導者の役割 予防と事故発生時の対応	講義	専任教員*		
第 7 回		実習中に発生した事故事例の分析	演習			
第 8 回	評価	修了認定試験 (1h)				
テキスト 参考図書	別途指示		評価 方法	筆記 100 点		
備考						

## 授業計画

科目名	災害看護・国際看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	3 年次
科目 目標	1. 災害医療・災害看護に関する基礎的知識・技術を習得する。 2. 国際看護に関する基礎的知識を習得する					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	災害看護の理解	災害の種類と被害の特徴 災害時の支援体制、医療体制 災害対応にかかる職員間・組織間連携	講義	外部講師* (看護師)		
第 2 回	災害看護の基礎	災害看護の特徴と看護の役割 災害医療対応の基本：CSCATTT 災害と法制度	講義	外部講師* (看護師)		
第 3 回	災害サイクルに 応じた看護	災害各期の看護 超急性期・急性期・亜急性期の看護	講義	外部講師* (看護師)		
第 4 回	災害看護の実際	トリアージと搬送、応急処置 (含包帯法)	校内 実習	外部講師* (看護師)		
第 5 回		トリアージと搬送、応急処置 (含包帯法)	校内 実習			
第 6 回	災害サイクルに 応じた看護	災害各期の看護 慢性期・復興期・静穏期の看護 被災者の心理とこころのケア 支援者のメンタルヘルス	講義	外部講師* (看護師)		
第 7 回 第 8 回	居住地の災害対 策	居住地のハザードマップ 居住者の特徴 居住地の災害対策と救護活動 (防災訓練参加)	講義 演習	専任教員*		
第 9 回	世界の健康問題 と国際看護	世界の健康の社会的決定要因 ・貧困 ・水と保健衛生 ・感染症 ・教育	講義 演習	外部講師 (看護師)		
第 10 回	国際看護	国際看護の歴史 国際看護の基本理念 国際看護の対象 ・災害・紛争地域 ・開発途上国に住む人々 ・在留外国人 ・在外日本人 ・帰国日本人	講義	外部講師 (看護師)		
第 11 回	国際協力	国際協力のしくみ 日本国内の国際化	講義	外部講師 (看護師)		
第 12 回	異文化理解と看 護活動	文化的存在としての人間の理解 文化を考慮した看護 在留外国人への看護実践	講義	外部講師 (看護師)		
第 13 回	国際看護活動の 実際	開発途上国における看護の実際 ・貧困 ・水と保健衛生 ・子供と女性・感染症	講義	外部講師 (看護師)		
第 14 回		国際救援における看護の実際 ・災害における救援 ・難民救済 これからの国際協力の課題	講義	外部講師 (看護師)		
第 15 回	評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h)	試験			
テキスト 参考図書	系統看護学講座 災害看護学・国際看護学 医学書院			評価 方法	筆記・レポー ト 100 点	
備考						

## 授業計画

科目名	臨床看護の実践		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	3 年次
科目 目標	1. 医療システムの中での安全を図り、診療の補助技術における事故防止のための知識・技術を習得する 2. 実践に即した技術演習を通して、専門職としての責任感と倫理観を養う 3. 複数患者への援助を通して、総合的な状況判断や対応の基本を習得する					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	診療の補助技術における事故防止	看護業務の特徴と看護事故の構造 注射・輸血における事故事例と事故防止 注射業務と事故防止 ・危険な薬剤 輸血業務と事故防止 内服及び処置検査における事故事例と事故防止 内服与薬業務と事故防止 経管栄養業務と事故防止 検査に伴う事故防止	講義 演習	専任教員*		
第 2 回	ハイリスク状況における事故防止	ハイリスク状況下での事故防止 タイムプレッシャーと業務の中断 ハイリスク状況下での注射業務の実施	講義	専任教員*		
第 3 回	事故防止の実際	注射処方箋の読み取り・指示確認 ハイリスク状況での注射薬の準備と管理 患者の立場での自己の行動の振り返り	校内 実習	専任教員*		
第 4 回		注射処方箋の読み取り・指示確認 ハイリスク状況での注射薬の準備と管理 患者の立場での自己の行動の振り返り	校内 実習	専任教員*		
第 5 回	安全で確実な採血	採血技術 採血部位の選択 採血時のリスクと合併症 医療廃棄物の取り扱いの実際 針刺し事故防止と事故発生時の対処	講義	専任教員*		
第 6 回		採血の実際（学生同士で実施）	校内 実習	専任教員*		
第 7 回		採血の実際（学生同士で実施）	校内 実習	専任教員*		
第 8 回	臨床における看護実践の特徴	臨床看護実践の特徴 他者との連絡・調整 複数の課題に対する優先順位の決定 流動的環境における判断 援助の優先順位を踏まえた二人の患者の援助計画 リスクアセスメント 日常生活の援助・診療の補助技術 一日の患者のスケジュール 二人の患者の情報収集と状況判断	講義	専任教員*		
第 9 回	複数患者の看護実践と状況への対応	二人の患者への援助計画 安全・安楽の確保 自立度に合わせた援助の実施 援助の効率性 タイムマネジメント 自己の実践能力に応じた対処方法決定 チームメンバーとの連携	演習	専任教員*		

第10回		二人の患者への援助の実施 患者の状態に合った援助 優先順位を考えた行動・段取り	校内 実習	専任教員*
第11回		二人の患者への援助の実施 患者の状態に合った援助 優先順位を考えた行動・段取り	校内 実習	
第12回	多重課題 への対処	予期しない事態への対応	講義	専任教員*
第13回		多重課題 予期しない患者の反応 突発的な事態	校内 実習	専任教員*
第14回		時間の切迫 I-SBARでの報告 評価・修正	校内 実習	
第15回	評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h)		
テキスト 参考図書	新体系看護学全書 看護の統合と実践①看護実践マネジメント 医療安全 系統看護学講座 基礎看護技術II 医学書院		評価 方法	筆記・レポート 100点
備考				

## 授業計画

科目名	地域特性と看護	単位数 (時間)	1 単位 (15)	時期	2 年次
科目 目標	所属する学科の専門性を踏まえ、事例対象者のアセスメントの結果を説明できる 事例のニーズを抽出し、社会資源活用を踏まえた支援策を考えることができる 事例の支援策について、他学科と協働して企画し発表することができる 他学科の専門性・志向性を理解・尊重しながら建設的な討議ができる 事例検討と企画発表を通して、多職種連携の重要性と医療者の役割について説明できる				
回	内 容	形式		担当教員 *実務経験のある 教員	
1	医療・福祉関連職の連携 地域医療構想 西多摩保健医療圏の特徴 専門職連携 科目目標の確認と事例紹介	合同講義 オンライン		専任教員*	
2 3	事例対象者の理解と支援策の検討（各校ごとに） 事例の全体像理解 事例対象者のアセスメント、ニーズの抽出 支援策の検討	各校で 演習			
4 5	多職種連携学習（合同カンファレンス） チームビルディング 事例対象者のアセスメント、支援策の共有 目標（ゴール）の共有、 他学科の専門性、志向性の相互理解 成果のまとめ 発表準備	合同 カンファレン ス			
6 7	成果報告会 対象者のアセスメント、支援策 多職種連携学習を通しての学び 質疑応答	合同 報告会			
8	評価 多職種連携学習の振り返り 自己評価 多職種連携における看護師の役割				
テキスト 参考図書	別途指示	評価 方法		レポート 100 点	
備考					